



# 自衛隊栃木地方協力本部

## #27期自衛官候補生課程卒業式 ～家族からの便り～



卒業を迎えた菅原2空士

自衛隊栃木地方協力本部 小山地域事務所(所長 宅原2陸尉)に令和5年3月に航空自衛隊熊谷基地航空教育隊第2教育群へ教育入隊し令和5年7月13日(木)に第27期自衛官候補生課程卒業式を迎えた隊員の家族から卒業式の報告があった。

この卒業生は、栃木地方協力本部から自衛官候補生として入隊した、菅原<sup>すがわら</sup> 悠<sup>しゅう</sup>2等空士で、隊員の家族は、「入隊初日の不安な表情から一変し、約4か月間の教育で成長し立派な自衛官になっていた。職種は「航空管制」、卒業後は愛知県の小牧基地第5術科学校に入校します」と、嬉しそうに話してくれた。

菅原2空士は「第一希望の職種に行けてうれしい。管制は覚えることが多く勉強が大変だと思うが、一生懸命頑張りたい!」と意気込みを述べていた。

小山地域事務所は「今後も、入隊後の隊員と連携を密にし、隊員、学校との信頼関係及び協力関係を強化し、募集基盤の拡充に邁進していく」として



卒業式会場

## P-3C下総航空基地体験搭乗! ～海上自衛隊の魅力を満喫～



管制塔見学。体験搭乗実施中のP-3Cを見ることが出来た



迫力のある放水に歓声が上が



耐熱服を試着する参加者「暑い〜!!」



地上救難班の装備品見学

自衛隊栃木地方協力本部(本部長 梶 恒一郎1陸佐)は7月15日(土)、海上自衛隊下総航空基地で募集対象者等14名に対しP-3C体験搭乗を行った。

当日は雨のち曇りという梅雨らしい天候であったが、下総基地へ近づくと雨もやみ、体験搭乗を実施することが出来た。

下総航空基地へ到着すると、P-3Cの任務についてのブリーフィングを行ったのち、地上救難班の救難消防車及び管制塔を見学した。救難消防車見学では、迫力のある放水を至近距離で見学すると大きな歓声が上がリ、管制塔見学では、体験搭乗実施中のP-3Cの離発着の様子を眺め、「次はあれに乗るんだね。タッチアンドゴー楽しみ〜」「スカイツリーも見えるね。空から見るのは初めてかも!」とこの後体験するP-3Cの体験搭乗への期待をふくらませていた。その後、飛行場地区へ移動し、お待ちかねのP-3C体験搭乗を実施した。体験搭乗後、参加した大学生から「旅客機とは違う雰囲気、ドキドキしました。飛行機の勤務員の自衛官がテキパキしていてもかっこよかったです。良い体験になりました。ものすごく楽しかったです」と笑顔で話してくれるなど、海上自衛隊の魅力を満喫した一日となった。

栃木地本は「今後も、各種イベントを通じて募集対象者等に積極的に働きかけ、自衛隊への理解の推進及び募集活動に推進していく」としている。



P-3Cの前で記念撮影をする参加者



P-3Cの前で記念撮影



P-3C体験搭乗



タッチアンドゴーを行うP-3C